

# 平成27年度 佐賀県こどもUD作品コンクール 入賞作品集

---

三世代みんなが安心して暮らせるように。



佐賀は、  
ユニバーサルデザイン

## 入賞者一覧

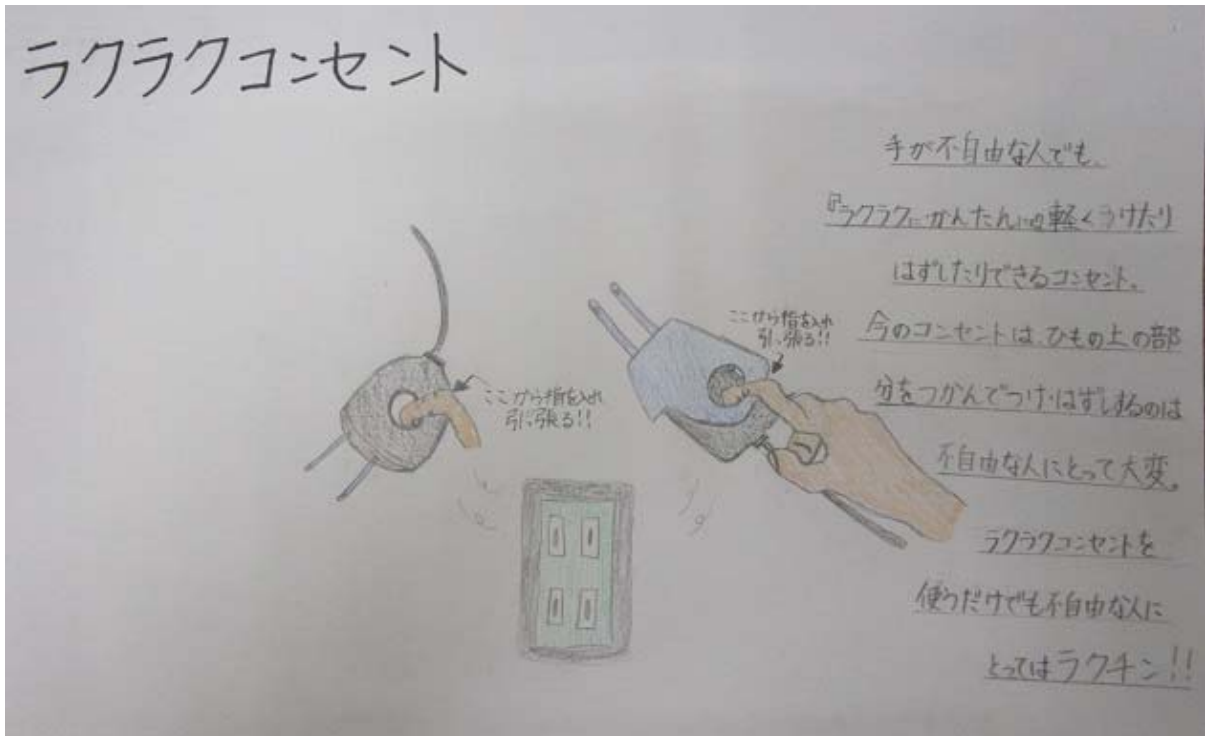
区分	部門	学校	学年	氏名	作品名	頁
大賞 (知事賞)	アイデア 作品	江北町立江北小学校	5年	佐藤 怜実	ラクラクコンセント	1
		鳥栖市立田代中学校	2年	轟木 里咲	暗い所でよく光るコードカバー	2
		佐賀県立唐津南高等学校	2年	緒方 公子	文字が見やすい時計	3
	ポスター ・壁新聞	佐賀市立若楠小学校	4年	門川 怜央、 吉村 頼、 高橋 幸美、 横尾 知佳	若楠校区のUDさがし	4
		小城市立小城中学校	1年	野田 希美	福祉体験学習新聞	5
		佐賀県立唐津南高等学校	2年	小才 初妃	私の家のUD	6
優秀賞	アイデア 作品	江北町立江北小学校	5年	飯盛 優来	車いすの人が楽チン!	7
		江北町立江北小学校	5年	袴田 夢子	便利なりモコン	8
		鳥栖市立田代中学校	2年	馬場 日菜子	注ぎやすすぎるポット	9
		鳥栖市立鳥栖西中学校	2年	原 千礼	車いすに乗ってでも使えるカート	10
		佐賀県立小城高等学校	1年	月岡 麗	4Point 便利なコップ	11
		佐賀県立唐津南高等学校	2年	田崎 樹里	ぶち袋	12
	ポスター ・壁新聞	佐賀市立若楠小学校	4年	高平 卓実、 西久保 雅心、 日高 祐、 荒木 羽美、 岡田 美姫	世の中に役立つUD	13
		佐賀市立若楠小学校	4年	宇都宮 聡美、 百崎 綸花、 山口 優人、 峰松 暖羽、 徳永 智一	佐賀市文化会館に行ったよ!!	14
		小城市立小城中学校	2年	古賀 百葉	私たちの手で思いやりを	15
		小城市立小城中学校	1年	江里口 萌香	全ての人に使いやすい	16

区分	部門	学校	学年	氏名	作品名	頁
優秀賞	ポスター ・壁新聞	佐賀県立唐津南高等学校	2年	久我 理菜	ユニバーサルデザインフ ードについて	17
		佐賀県立唐津南高等学校	2年	佐伯 瑠美	UDとCOLOR	18
	作 文	基山町立若基小学校	4年	鳥越 春花	ユニバーサルデザインを 知っていますか。	19
		基山町立若基小学校	4年	東郷 華和	みんな使えてみんなべん り	20
		基山町立若基小学校	4年	坂口 結香	ユニバーサルデザインは 大切	21
		小城市立牛津中学校	1年	泉福 晋平	ユニバーサルデザイン	22
		小城市立牛津中学校	1年	堀 菜	広げよう！ユニバーサル デザインの輪	23
		小城市立牛津中学校	1年	蘭 瑠偉	ユニバーサルデザインを 広めるために	24
		佐賀県立牛津高等学校	1年	楠本 京	UD グッズを作って	25
		佐賀県立牛津高等学校	1年	箆島 満理奈	こころの UD	26
		佐賀県立唐津南高等学校	2年	原 未帆	ユニバーサルデザインに ついて	27

知事賞

「ラクラクコンセント」

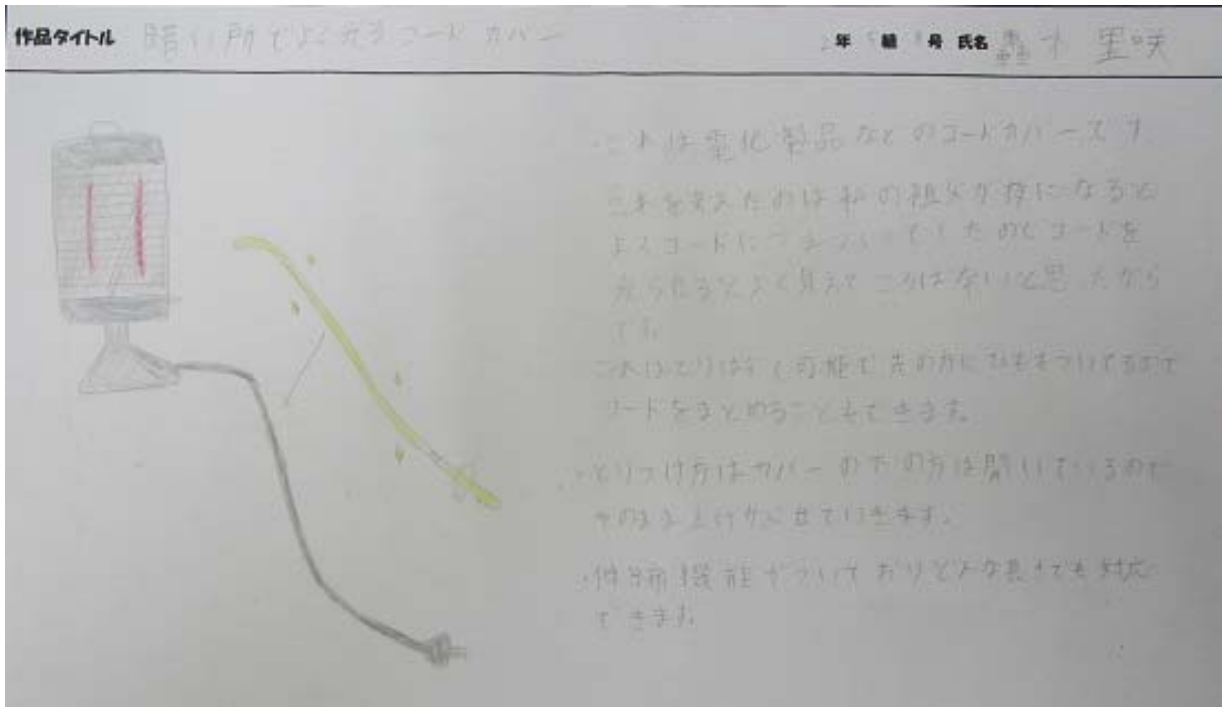
江北町立江北小学校 5年: <sup>さとう</sup> <sup>れみ</sup> 佐藤 怜実



知事賞

「暗い所でよく光るコードカバー」

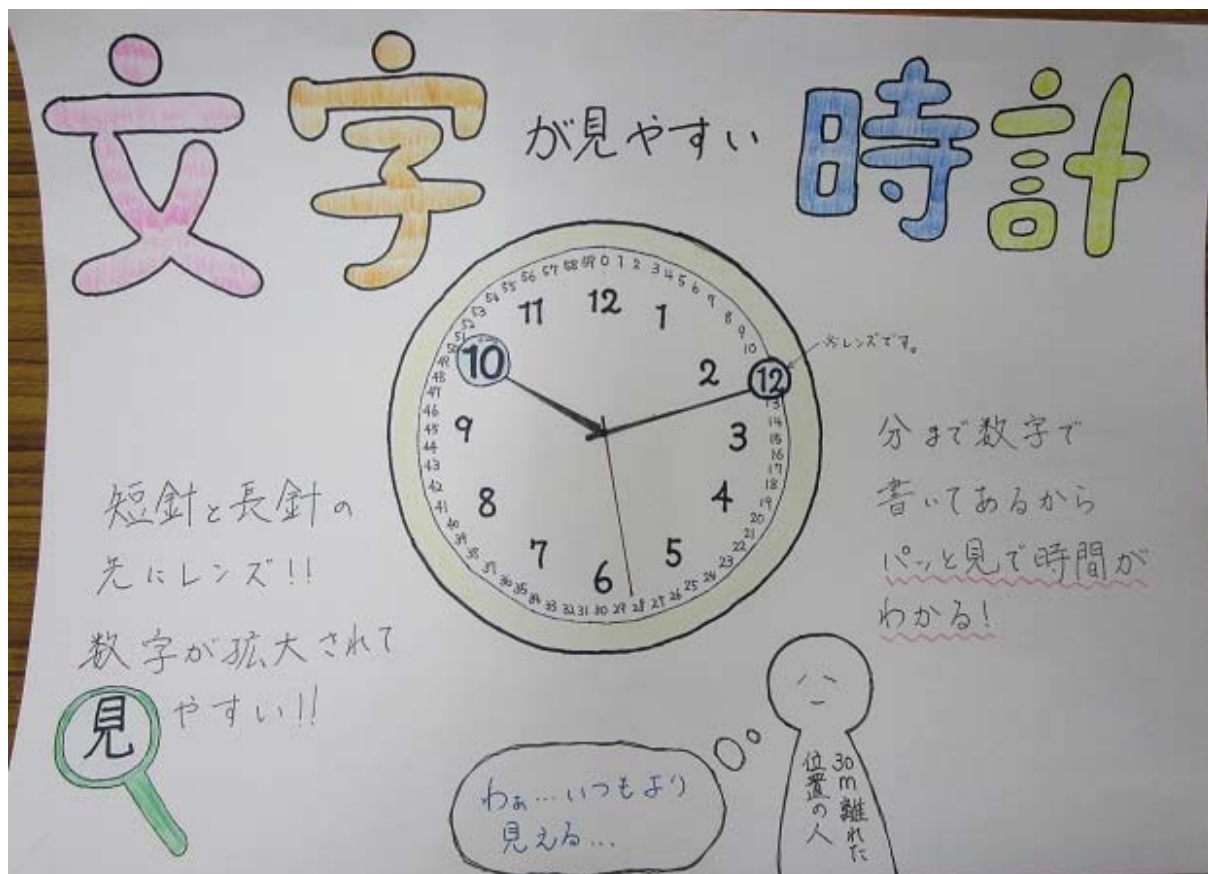
鳥栖市立田代中学校 2年: <sup>とどろき</sup> 轟木 <sup>りき</sup> 里咲



知事賞

「文字が見やすい時計」

佐賀県立唐津南高等学校 2年:緒方 <sup>おがた</sup> <sup>きみこ</sup> 公子



知事賞

「若楠校区のUDさがし」

佐賀市立若楠小学校 4年: <sup>かどかわ</sup>門川 <sup>れお</sup>怜央  
<sup>よしむら</sup>吉村 <sup>らい</sup>頼  
<sup>たかはし</sup>高橋 <sup>ゆきみ</sup>幸美  
<sup>よこお</sup>横尾 <sup>ちか</sup>知佳









知事賞

「私の家のUD」

佐賀県立唐津南高等学校 2年: <sup>こさい</sup>小才 <sup>はづき</sup>初妃

**UD** Universal Design

UD ユニバーサルデザイン

私の家のUD

＊ UD (ユニバーサルデザイン) とは？ ＊  
 ユニバーサル (すべての、普遍的な) デザイン (計画、設計)  
 製品、建物、空間、環境等を様々な人がてきとよく利用可能であるように  
 工夫から考案したデザイン全般を指す。  
 小振り、年寄り、国籍、性別に違いを越えて、てきとよく多くの人に使いやすい  
 よう考案してつくることがユニバーサルデザイン

＊ UD (ユニバーサルデザイン) の 7 原則 ＊

1. 誰でも公平に使用できること (誰にも利用でき、容易に入ることができる)
2. 柔軟に使用できること (使用の仕方など使用目的や能力に合うように作られる)
3. 使い方が直観的に分かること (他人の経験や知識に関係なく分かる)
4. 必要は情報が必要に理解できること (使用状況、使用の状況に即座に気がつく)
5. 間違えを必要の結果に仕掛けること (危険や悪影響の結果に気づかないように)
6. 少ない力で楽に使えること (効率がよく負担が少なく、疲れないで使えるようにする)
7. 使用するのに適切な反応があること (どんな人でも操作しやすくて又安全なこと)

＊ユニバーサルデザインはバリアフリーデザインの進化＊  
 バリアフリーデザイン  
 障害者や高齢者に配慮している

ユニバーサルデザイン  
 性別、年齢、障害の有無、国籍  
 関係なく、たいてい使いたいように  
 考案されている

＊感想＊  
 今回のユニバーサルデザインに記入するのは  
 かなり和道の周りににはたいていの  
 ユニバーサルデザインがあることと  
 気づくことができた。  
 そして私の自宅のUDを探してみました。  
 思いついたもののUDが少なくて  
 しました。

点字がはいっている  
 軽い力で開けられる

おまけに  
 中が圧縮  
 少ない力でOK!

フタの  
 点字が  
 目印  
 リンゴの  
 蓋の  
 蓋の  
 蓋の

おまけの  
 蓋の  
 蓋の  
 蓋の

おまけの  
 蓋の  
 蓋の  
 蓋の

優秀賞 「車いすの人が楽チン！」

江北町立江北小学校 5年:飯盛 優来 いさがい ゆら





優秀賞 「注ぎやすすぎるポット」

鳥栖市立田代中学校 2年: 馬場 ひなこ 白菜子



優秀賞

「車いすに乗ってでも使えるカート」

鳥栖市立鳥栖西中学校 2年:原 <sup>はら</sup> 千礼 <sup>ちひろ</sup>



優秀賞

「4Point 便利なコップ」

佐賀県立小城高等学校 1年:月岡 <sup>つきおか</sup> <sup>うらら</sup> 麗

4 point 便利なコップ

特徴

- ★ 持ち手がへこんでいる
- ★ 底の丸いコップが埋めこまれているような形状
- ★ 底面は正方形

～ 4つのpoint ～

- ① 倒れにくい  
底面が牛乳パックのような正方形のため
- ② 飲み残しがたまらない  
内部は丸い形状のため
- ③ 握りやすい  
中央が少しへこんでいるため
- ④ 洗しやすい  
内部は丸く、角に飲み物がたまらないため



優秀賞 「ぶち袋」

佐賀県立唐津南高等学校 2年: <sup>たさき</sup>田崎 <sup>じゅり</sup>樹里





優秀賞

「世の中に役立つUD」

佐賀市立若楠小学校 4年: 高平 卓実

たかひら たくみ  
にしくほ まさみ  
ひだか ゆう  
あらき うみ  
おかだ みひめ  
岡田 美姫

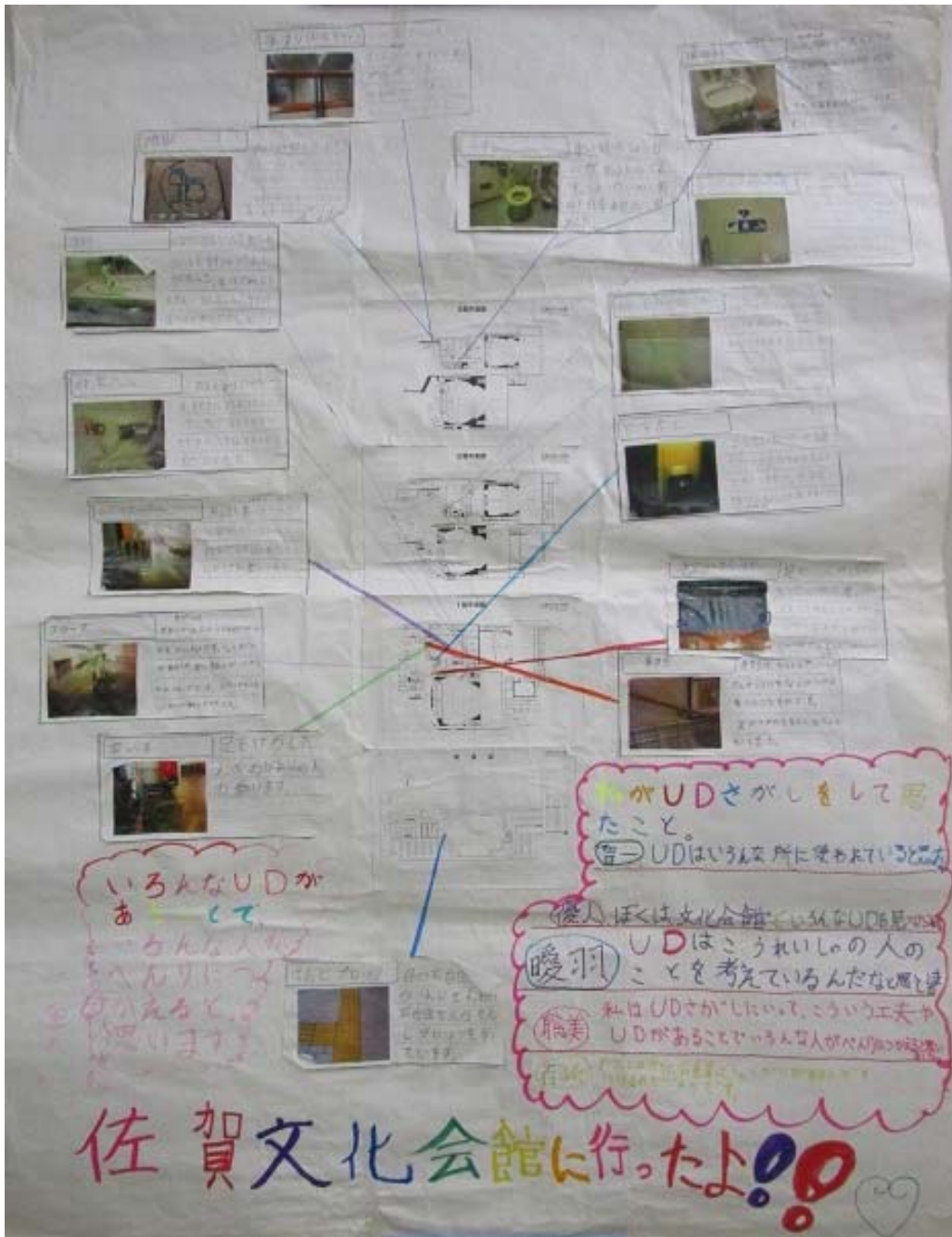


優 秀 賞

「佐賀市文化会館に行ったよ!!」

佐賀市立若楠小学校 4年: 宇都宮 聡美

うつのみや さとみ  
百崎 琳花  
やまぐち ゆうと  
山口 優人  
みねまつ あゆは  
とくなが ともかず  
徳永 智一



優 秀 賞

「私たちの手で思いやりを」

小城市立小城中学校 2年:古賀 <sup>こが</sup> <sup>ももは</sup> 百葉





優秀賞 「全ての人に使いやすい」

小城市立小城中学校 1年:江里口 <sup>えりぐち</sup> <sup>ほのか</sup> 萌香



優秀賞

「ユニバーサルデザインフードについて」

佐賀県立唐津南高等学校 2年: 久我 理菜

## ユニバーサルデザインフードについて

### UDFとは?

年齢や障がいのあるなしにかかわらず、皆様の食事から介護までできるだけ多くの人が利用できるように考えられた「みんなにやさしい食品のこと。簡単に調理できるストロベリーや冷凍食品などもUDFの一部。

### UDFの区分

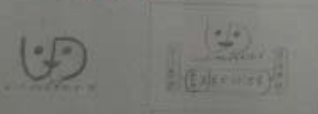
区分1 容易に飲める  
 \* つかいにくいものが入っていない  
 \* 普通に飲められる

区分2 飲みやすい  
 \* つかいにくいものが入っていない  
 \* 物によっては飲みやすいものがある。

区分3 舌ざりしやすい  
 \* 噛みごたえが少なく飲みやすい  
 \* 舌が舌を刺さらないものがある

区分4 飲みやすい  
 \* 固い物は入っていない  
 \* 飲みやすい飲みやすい

### UDFのマーク



### UDFのとろみ調整食品

※ とろみ調整食品とは  
 食べ物の飲み物を混ぜるだけで、適度なとろみを簡単につけることのできる粉末状の食品。また、ゼリー状に固めることで、食べやすいものもあることなど、さまざまな飲み物の食品。加工や準備が簡単で、飲みやすさと味と両立。

※ とろみ調整食品の統一表示マークとは  
 とろみ調整食品についてメーカー間の表示統一を促す取り組みを、以下のように生産者のマークで表現している。

とろみ調整度	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆
とろみ調整度	とろみ調整度	とろみ調整度	とろみ調整度	とろみ調整度
例				
例				

### UDF商品

(乳類) ・ 牛乳(無糖) ・ 牛乳(低糖) ・ 牛乳(全糖) ・ 牛乳(無糖) ・ 牛乳(低糖) ・ 牛乳(全糖) ・ 牛乳(無糖) ・ 牛乳(低糖) ・ 牛乳(全糖)

(お菓子) ・ 餅(もち) ・ 餅(もち) ・ 餅(もち) ・ 餅(もち) ・ 餅(もち) ・ 餅(もち) ・ 餅(もち) ・ 餅(もち) ・ 餅(もち)

(デザート) ・ 生クリーム(無糖) ・ 生クリーム(低糖) ・ 生クリーム(全糖)

(野菜) ・ カブ(無糖) ・ カブ(低糖) ・ カブ(全糖) ・ カブ(無糖) ・ カブ(低糖) ・ カブ(全糖)

(肉) ・ 豚肉(無糖) ・ 豚肉(低糖) ・ 豚肉(全糖) ・ 豚肉(無糖) ・ 豚肉(低糖) ・ 豚肉(全糖)

(その他) ・ 牛乳(無糖) ・ 牛乳(低糖) ・ 牛乳(全糖)

### UDF使いやすさの工夫

飲みやすいマーク  
 \* 飲みやすいマークは、飲みやすいマーク  
 \* 飲みやすいマークは、飲みやすいマーク

飲みやすいマーク  
 \* 飲みやすいマークは、飲みやすいマーク  
 \* 飲みやすいマークは、飲みやすいマーク

飲みやすいマーク  
 \* 飲みやすいマークは、飲みやすいマーク  
 \* 飲みやすいマークは、飲みやすいマーク

飲みやすいマーク  
 \* 飲みやすいマークは、飲みやすいマーク  
 \* 飲みやすいマークは、飲みやすいマーク

飲みやすいマーク  
 \* 飲みやすいマークは、飲みやすいマーク  
 \* 飲みやすいマークは、飲みやすいマーク

### 感想

ユニバーサルデザインフードは、年齢や障がいのあるなしにかかわらず、皆様の食事から介護までできるような食品のこと。みんなにやさしい食品のこと。簡単に調理できるストロベリーや冷凍食品などもUDFの一部。

優秀賞 「UDとCOLOR」

佐賀県立唐津南高等学校 2年: 佐伯 <sup>さえき</sup> <sup>るみ</sup> 瑠美

UD と COLOR

ユニバーサル デザイン

視覚障害の理解と  
それを考えたユニバーサルデザインをしよう!!

視細胞

L (左) 黄緑～赤の光を感知  
M (緑) 緑～橙の光を感知  
S (青) 紫～青の光を感知

桿体 錐体

人の目の網膜には3種類の光を感知する細胞と明暗を感知する細胞がある。細胞にはL(赤), M(緑), S(青)がある。

↓

C型  
3種類の細胞がある。一般明。

P型色覚  
L細胞が多い人(P型強度)とL細胞の  
分光感受性からM細胞と似通った人(P型弱性) ⇒

D型色覚  
M細胞が多い人(M型強度)とM細胞の  
分光感受性からS細胞と似通った人(D型弱性)

青 紫 橙 赤 緑 黄 青 赤 紫

青 紫 橙 赤 緑 黄 青 赤 紫

赤 紫 青 黄 緑 赤 紫 青 黄 緑

赤 紫 青 黄 緑 赤 紫 青 黄 緑

色覚

D型の人がP型とM型の色覚を有する人に  
見えため、色の区別がとて難しい。

感想  
色を考えたUDがあることを  
初めて知った。様々な人が  
住む社会の中でUDは  
必要不可欠だと考えた。

現在ある目(顔)に関するUDは??

教科書や教材など強制的な部分は、  
色で表すのではなく、視覚以外の  
手段・記録に分けて「カラー」を  
行っている工夫が進められている。

優 秀 賞

「ユニバーサルデザインを知っていますか」

基山町立若基小学校 4年:鳥越<sup>とりこえ</sup>春花<sup>はるか</sup>

私たちは、二学期にユニバーサルデザインを勉強しました。点字、マーク、車いす、道具について知りました。

点字教室では、じっさいに点字を作りました。私は、点字をいろいろなところで見ました。シャンプー、エレベーターについていました。

マークは、ちゅう車場で見た事があります。車いすのマークを見た事があります。スーパーでは、ほじょ犬のマークがありました。それは、ほじょ犬は入っていいという意味です。

車いすでは、車いすに乗りました。おしてもらうのは、上手におしてもらいました。めかくししておしてもらった時は、とてもこわかったです。おすのもしました。むずかしかったです。自分でこぐ時は、上手にできませんでした。

最後に、道具です。とっての大きいコップは、力が弱い人などが便利です。でもユニバーサルデザインは、みんなも使っているいい道具です。

みなさん「人」という漢字をっていますか？「人」とは、人と人が助けあってできる物です。だから、困っている人がいたら、助けてあげてください。そしたら、困っている人もうれしくなります。

人間 びょうどう さべつなし。



優 秀 賞

「みんな使えてみんなべんり」

基山町立若基小学校 4年:東郷<sup>とうごう</sup> 華和<sup>やわら</sup>

わたしは、ユニバーサルデザインのことを学校で学びました。はじめてなるときは、ユニバーサルデザインをうまくいしきしていませんでした。でも、だんだんじゅぎょうをしていき、ユニバーサルデザインにいしきがたかまり、しらべました。そしたら、体の不自由な人もみんなつかいやすいようにと多くかかれていました。わたしは、じっさいにユニバーサルデザインの道具を見ました。わたしは、力のよわい人がつかいやすい道具や目のわるい人がみわけがつくつかいやすい道具があり、かんしんしました。わたしはユニバーサルデザインを使うと、とっても便利でした。その話を、おかあさんにいうと、ユニバーサルデザインは、「お年よりも使うんだよ、しらなかったの」と言われ、かんがえました。そうかんがえればユニバーサルデザインは、みんながつかえる、使いやすい、みんなみんながひつようとしていて、大切に思われている道具なんだと思いました。だから、家にあるかもとおもいさがしたらユニバーサルデザインのシャンプーとリンスがあり、シャンプーとリンスのちがいがよくわかりました。まだユニバーサルデザインの道具がつくられるとおもうと、うれしいです。これからは、おとうとやいもうとにユニバーサルデザインのことをおしえようと思いました。

優 秀 賞

「ユニバーサルデザインは大切」

基山町立若基小学校 4年:<sup>さかぐち</sup>坂口 <sup>ゆか</sup>結香

私は、ユニバーサルデザインについて勉強したことがあります。それは、車いす、手話、点字などのものです。まず、私が体験して心に残ったもの、それは車いすです。私も体験で車いすにのったときだんさや、スロープなどの所に行くとき、友だちに手助けされながらスロープやだんさを乗りこえました。本当に車いすを使っている人もこのようなことをしてもらっているのだと思いました。車いすに乗りながら、私は考えたことがあります。それは、だんさがあると人助けがたくさんないと、車いすの人も落ちたらあぶない。ちなみに、手助けしてくれる人も車いすの人がけがをしないように考えてもっている。だから、車いすに乗っている人も手助けをしてくれている人もたいへんなんだなあと思いました。

次に、私が体験したのは、手話です。私も手話をしている人を見かけたことがあります。それは、私がならいごとに行ったときに、一年生くらいの小さな子どもを連れのお父さんです。よく見ると、一年生くらいの子のお母さんがそのお父さんと手話で話をしていることでした。それを見たときは、手話をまだ習っていなかったのになんて言うことばなんだろう。と思いました。でも、手話を習ってから私はあの手話が、どういうことかがよく分かりました。私が習ったのは、『おはようございます』と『こんにちは』と『こんばんは』です。手話で話す人々と、手話でお話をして、耳の聞こえない人とも仲良くなりたいです。だから、私も、もっと手話を勉強して話せるようになりたいです。

次の体験は点字です。点字をうつことは、とってもむずかしいことです。でも、うつことで、だんだん上手にうててきました。私も休日にいろいろなところに行くときによく点字を見かけます。たとえば、手すり、地図などがたくさん見つかりました。

これらのことをまとめると、人は人だから区べつなし。もしも、その人がしょうがいでもからかわないことが大切だと思います。これで終わります。

優秀賞 「ユニバーサルデザイン」

小城市立牛津中学校 1年:泉福 晋平<sup>せんぶく しんべい</sup>

この町や物には「誰でも」使える見れる、ユニバーサルデザインがたくさんあることを知りました。ユニバーサルデザインだけに関わらず、サービスや色々な情報にあふれていることにも気づきました。

ユニバーサルデザインはどこの誰でも使えて快適にすごせます。

例えば、自動はん売機をユニバーサルデザインの工夫が入った物で誰でも使えます。ぼくはこの工夫に驚きました。それは車いすの人や背が小さい人のために低くしてあったり、普通の人も使えるように車いすの人や小さい人が押すボタンを低くしそれに番号をつけほしい物と同じ番号を押すと商品がでるといふ工夫です。これを作った人は頭がいいなあと思いました。何故なら、「誰でも」使える。というテーマにぴったり当てはまる便利な物だと思ったからです。

ぼくは、こんな身近に他人を思いやることができていることに気づきました。

ぼくは、こんな機械に頼らずとも人を思いやることは誰にだってできるということにも気づきました。そして「誰にでも」このような行動できるように努力したいと思いました。

この行動を実現するには「意識する」ことも大切です。いつも身の回りは意識しないと気づかないことがたくさんあります。だから、意識をしながら努力し、行動に変えることができるようになれたらいいなあと思いました。

そして、その努力をけい続することも大切だなということにも気づきました。

優 秀 賞

「広げよう！ユニバーサルデザインの輪」

小城市立牛津中学校 1年:堀 菜<sup>ほり しおり</sup>

私は、小学生の時、ユニバーサルデザインについての学習をしました。ユニバーサルデザインとは、最初から誰もが使いやすい道具や環境として考えられたデザインのことだそうです。

私達が暮らしている町の中には、たくさんのユニバーサルデザインがあります。例えば、ショッピングセンターや学校などにある「多機能トイレ」です。お年寄りや足の不自由な人のために手すりがついていたり、赤ちゃんのためにベビーシートがついているなど、色々な人が使いやすいように作られています。私は、今まで皆が使えるトイレだとは知っていたけれど、誰もが使いやすいようにたくさんの工夫がされているとは、考えたこともありませんでした。また、私はこのことについて学習をするまでは、歩道にある正方形のでこぼこしたブロックが「視覚障害者誘導用ブロック」だとは知りませんでした。もし、このブロックが無かったら、視覚障害者が一人で外出するのは、難しいのではないのでしょうか。しかし、このブロックは突起が高いため、お年寄りが転びやすく、車いすやベビーカーが進みにくいという問題があるそうです。そのため、屋内用としては、「エスコット」という突起が低いブロックが開発されているそうです。

これからは、困っている人がいたら、勇気を出して声をかけ、助けてあげたり、友達や家族など相手の気持ちを考えて行動できるようにがんばりたいと思います。日本ではユニバーサルデザインが広まっているようですが、まだこの考え方自体がない国もあると知りました。今後は、日本だけでなく、世界中にユニバーサルデザインの輪が広がり、誰もが暮らしやすい世の中になっていくことを願っています。そのために、私も自分ができることから始めていきたいと思っています。

優 秀 賞

「ユニバーサルデザインを広めるために」

小城市立牛津中学校 1年: 蘭<sup>あらかぎ</sup> 瑠偉<sup>るい</sup>

ぼくの周りには、ユニバーサルデザインが数えきれないほどあります。それらは、体の不自由な人や高齢者、妊婦さんなどを中心にみんなが安心して使えるようにとデザインされたものです。家の中を見わたしたとき、様々なところにユニバーサルデザインを発見しました。お風呂には目が不自由な人はもちろん、目をとじているとリンスとシャンプーの区別が付きません。だから、シャンプーの器にギザギザがついていて区別できるように工夫されていました。階段には、すべってけがをしないように安定して上り下りできるように手すりがついていることも分かりました。他にも数多く発見しました。

僕はこういう工夫を考えた人は、みんなが安心して暮らせるような世の中になってほしいと願う、心優しい人だったのだらうと思います。僕も人のためになにかを考えられるような人になりたいと思います。

僕はユニバーサルデザインは素晴らしいものだと思います。みんなが安心して暮らせる世の中を作りたいと思う心が表れているからです。こういう人を思いやる心はとても大切です。僕はバスに乗った時、おばあさんに席をゆずったことがあります。初めははずかしくて声をかけられませんでした。でも、立っていてきつそうで見えなかったから、勇気を出して席をゆずりました。そのときの行動は思いやりのある行動だったと思います。このような行動がユニバーサルデザインの発展につながっていくのではないのでしょうか。

まだ、ユニバーサルデザインの存在を知らない人が多くいると僕は思います。だから、僕がユニバーサルデザインがこんなところにあり、なんのためにこの工夫がされているかということを一早く知りみんなに教えてあげようと思います。そうすることにより、もっと多くの人々がユニバーサルデザインを有効に活用し、みんなが安心して暮らせる世の中がつくられると思います。

優秀賞 「UDグッズを作って」

佐賀県立牛津高等学校 1年:楠本 京くすもと みやこ

私は、UDグッズを作ってみて自分だけではなくあらゆる人の目線になるということがとても難しくUDグッズを作るということは手間がかかり難しいことなんだということが分かりました。私は最初、すぐに作れるだろうと思っていましたが実際に作ってみると、まずどのような人が何に対して不便に思っているのか調査することが必要でした。自分で考えた高齢者が使えるものは、それは高齢者しか使うことができず、UDグッズとはいえませんでした。よく考えてみると障がいのある人や子どもも対象にした物がよく作られるなと思いました。次に材料を揃えて作ってみるととても難しくどうすれば誰もが使いやすくなるのかなど考えるととても時間がかかりました。それからできあがってから使ってみると持ちづらかったりとはやはりとても大変でした。また、これを機にUDグッズを作ることの大変さが分かりました。

ユニバーサルデザインという言葉の意味も大して分かっていませんでしたが、UDグッズを作ってみてユニバーサルデザインという意味、また、それがどのように人に利益をもたらしているのかということまで分かりました。また、どれだけ自分が簡単にいろんなことをすることができるのか分かりました。今まではまったく考えずにすごしていましたがユニバーサルデザインについて学習することにより自分以外の人、また体が不自由な人のことを考えながら生活するということができるようになったと思います。周りの人のことを考え行動するということはこれからの生活でとても大事なことだと思うので、ユニバーサルデザインについて学ぶことができて本当によかったなと思いました。

私は将来保育士になりたいと思っています。今回学んだことや感じたことは、必ず役に立つと思います。なので今回学んだことは決して忘れないようにしようと思いました。

また、今回のUDグッズ作成で思ったことがもう一つあります。それは不自由な人を無くす、少なくするという事です。そのためには日々の生活の中で周りのことをよく見て人を気遣うということが大切であるということがわかりました。そういうことに気を配ることによってより良いUDグッズができ、多くの人がユニバーサルデザインについて知ることができると思うからです。多くの人を知ることによってUDグッズの需要が増えるといいなと思いました。

今回、UDグッズを作ってみて人のためだけではなく自分のためにもなったのでよかったです。また、不自由な人がいなくなるといいなと思うことができました。



優秀賞 「こころのUD」

佐賀県立牛津高等学校 1年: <sup>おさじま</sup> 茂島 <sup>まりな</sup> 満理奈

私は先日、肥前山口駅を利用しました。利用するホームへ降りようとしていると車イスと持ち運びが出来るスロープを持っている駅員さんを見かけました。私は何をしているのか全く見当が付きませんでした。電車を待っている私の隣には車イスとスロープを持った駅員さんが並んでいました。私は駅員さんが何をしているのか本当に分かりませんでした。しかし、電車が駅に到着した時にその謎が解けました。電車から一組の老人夫婦が降りてこようとしているところにその駅員さん達が駆け寄っていったのです。足を悪くされている旦那さんを車イスに乗せてあげていました。そこで私は駅員さん達は快適に駅を利用できるように最善を尽くそうとしているのだなと実感しました。授業の一環でUD商品を作りました。物という形でしかUDを考えていなかったのですが、この出来事を通して人の温かさもUDの一部ではないかと思いました。

このように、UDにも様々な形があって人々を支えているのだと改めて感じました。物だけではなく、「こころ」のUDもこれから大切にしていきたいと思いました。私はUD商品を作ってくださいと言われてもその場でUD商品を生み出すことは出来ません。しかし、困っている人に手を差し伸べることはできます。私は私なりに出来ることを探したいと思います。それがこころのUDのひとつだと思うからです。こころのUDは最も大切なユニバーサルデザインだと言われています。お金も時間もかからず、誰でもこころがけでできます。難しいことではないので、私は日々それを心の中に留めて過ごしたいと思います。

また、授業でUD商品作りやUDについて学んだので、もっとUDに関心を持ち、学校生活や日常生活の中でUDを見つけることが出来るといいなと思いました。文化、言語、国籍の違い、老若男女といった差異、障がい、能力の差を問わずに利用できる施設、製品、情報の設計のことをユニバーサルデザインといいます。その一つにこころのユニバーサルデザインというものがあります。一見、デザインとこころとは関係ないようですが、こころのユニバーサルデザインは誰もが出来るものです。私は身近で起こった出来事でこころのUDに気付くことが出来ました。自分も人に手を差し伸べる心温かい人になりたいです。



優秀賞 「ユニバーサルデザインについて」

佐賀県立唐津南高等学校 2年:原 未帆<sup>はら みほ</sup>

私は、ユニバーサルデザインは、高齢者や障害者のためにあるんだと思っていました。地球上には、いろいろな人が暮らしています。男性、女性、大人、子ども、お年寄りなどがいます。こまかく言えば、からだの大きな人や小さな人、力が強い人や弱い人、右利きの人や左利きの人などひとりひとりがちがう個性をもっています。このさまざまな人たちがいつでも、どこでも安心して使えるのがユニバーサルデザインだと知りました。ユニバーサルデザインは、使う人の気持ちになって作られるものだと思います。

私は左利きです。左利きにも便利なユニバーサルデザインはどんなものがあるのか気になったので調べてみました。例えば、大手民鉄、JRが導入しているバーレススタイルの自動改札は、左手で使う場面も考え、券投入口が左に5度向いているなどの工夫がされていることが分かりました。他にも、左右両開きの冷蔵庫や右手でも左手でも扱えるように歯付けがなされた包丁などがあることが分かりました。生活をしている中で不便だと思うことがあるのもっと左利きにもやさしいユニバーサルデザインが増えるといいなあと思いました。左利きの人を使いやすい道具は、全ての人にも使いやすいと思います。

そして、ユニバーサルデザインと似ているバリアフリーという言葉もよく耳にします。私は同じようなものだと思っていました。でも、似ているけど違うことを知りました。ユニバーサルデザインとバリアフリーの違いは考え方です。ユニバーサルデザインは、最初からバリアをつくらないという考え方です。これによって能力の違いに関係なく、世界中の人々が便利に暮らせます。これに対してバリアフリーは、お年寄りや身体障害者などが不便と感じる障害を後から改善し、解消していくという考え方です。

今回、ユニバーサルデザインについていろんなことを調べて、たくさんのユニバーサルデザインがあることがわかったし、ユニバーサルデザインについて正しく理解することができたのでよかったです。ユニバーサルデザインは、使うすべての人のことを考えて作られているので、人の心を思いやる人達の手で生み出されていると思いました。これからの社会で、もっとユニバーサルデザインが増えて、世界中の人の笑顔があふれるといいなあと思いました。